

令和3年度全国海難防止団体等連絡調整会議（日本海事センター補助事業）を開催

日本海難防止協会（村上英三会長）は、令和3年11月11日～12日東京・平河町の海運クラブで、「令和3年度全国海難防止団体等連絡調整会議」を開催しました。

本会議は、全国海難防止団体、小型船安全協会などの関係者が集まり、海難防止の周知・啓発、各種調査研究活動などの技術情報の交換と各団体の事業に関する相互調整を目的に、（公益財団法人）日本海事センターの補助を受けて年1回開催しているものです。

会議冒頭で、主催者の日本海難防止協会鈴木章文理事長が、「各団体は日頃から社会貢献のために各地域の状況に応じた活動を行っている。海難防止、小型船の安全対策という共通の課題の下、十分な意見交換を行い、今後の事業運営に生かしてほしい。」と挨拶しました。

続いて、日本海事センターの下野元也常務理事が来賓として挨拶されました。

第1日目は海上保安庁による講演のほか、全体会議として「地域のニーズに的確に対応した事業の実施について」、第2日目は海難防止団体による分科会Ⅰで「海難防止団体間の連携の可能性と課題」、また小型船安全協会などによる分科会Ⅱで「今後の小安協の組織維持・拡大について」をそれぞれ議題として意見交換が行われました。



令和3年度全国海難防止団体等連絡調整会議